

杏林大学医学部附属病院 顎口腔外科を受診される患者さんへ  
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うお願い

新型コロナウイルス感染症は、依然完全な収束のめどが立たない状況にあります。当科はエアロゾルを発生させる処置が多いという特徴があることから、引き続き安全に配慮した感染防御態勢（PPE：個人防護具装着）での対応に努めております。

1. 外来診療

下記に留意して歯や骨を切削する器具を用いた観血的処置を行っております。

- ・ 施術前に新型コロナウイルスについての検査を受けていただく
- ・ 同時に 2 人以上の切削器具を使用する観血的処置は行わない
- ・ 観血的処置を行う際には、病棟患者や易感染状態の患者は診療室に立ち入らない
- ・ 観血的処置に際しては、術者、介助者ともに手指衛生に留意したうえで、N95 マスクやフェイスシールド、帽子、グローブ、長袖エプロンを含めたフル PPE で対応する

2. 周術期管理センター業務（全身麻酔を受けられる方の口腔評価）

- ・ 入院前は、エアロゾルの発生しない口腔評価と処置のみ行う
- ・ 入院当日は、患者さんおよび処置の内容を限定して行う
- ・ 術後の病棟往診対象は、術後の口腔管理がとくに重要と考えられる患者に限定する
- ・ 対応に際し、スタッフは手指衛生にも留意したうえで、N95 マスクやフェイスシールド、帽子、グローブ、長袖エプロンを含めたフル PPE で対応する

今後も引き続き、感染防御には十分な注意を払った診療に努めて参ります。

待ち時間の延長や、急に受診日程の変更をお願いすることも想定されますが、何卒ご理解ください。以上、ご不便・ご面倒をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2022. 8. 4

顎口腔外科  
診療科長 齋藤康一郎  
准教授 池田哲也